
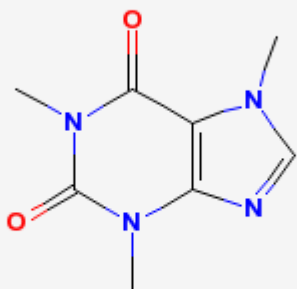


カフェイン

天然に存在するメチルキサンチンで、飲料や医薬品に含まれる。カフェインのもっとも顕著な効果は中枢神経系への刺激で、覚醒・興奮作用を示す。また、平滑筋の弛緩・心筋の刺激・利尿作用があり、一部の頭痛の治療に便利である。細胞内でのカフェインの作用がいくつか観測されているが、薬学的な性質の効果すべてが明らかになっていない。作用のうちのもっとも重要なものは、サイクリックヌクレオチドフォスホジエステラーゼの阻害、アデニン受容体への拮抗作用、細胞内カルシウムの調節である。

Name	Caffeine ¹⁾
MeSH	 68002110
Molecular Weight	194.1906 g/mol
Molecular Formula	C ₈ H ₁₀ N ₄ O ₂
XLogP	-0.5



<jmol caffeine.pdb.gz 200 200>

```
jmolBr();
jmolRadioGroup([
  "spacefill off",
  "spacefill 20%",
  ["spacefill 95%", null, "checked"]
], "<br />");
```

</jmol>

Wikipedia

[カフェイン](#)

[化学構造, JMol](#)

¹⁾

1,3,7-trimethylpurine-2,6-dione

From:

<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:

<https://bio.edu-wiki.org/%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%83%B3>

Last update: **2013/06/09 09:08**

